

「伝統ある事業には大切な意味がある」

鹿嶋市まちづくり連絡協議会
会長 塚原 重徳さん(沼尾)



鹿嶋市まちづくり 連絡協議会の活動

まずはじめに、鹿嶋市の公民館と運営の仕組みについて簡単に説明します。鹿嶋市の公民館は、中央公民館を含めると全部で11館あり、中央公民館以外の公民館は、それぞれの小学校区(旧大野区域はそれぞれ2つの小学校区)を主な対象エリアとして社会教育事業やまちづくり市民活動の拠点施設として機能しています。そして、活動の企画運営を担当している市民組織として「〇〇地区まちづくり委員会」という市民組織があります。

今回、私が会長に就任することになった鹿嶋市まちづくり連絡協議会は、各地区のまちづくり委員会相互の連絡調整や全体で取り組む事業の企画、各地区のまちづくり委員や公民館職員の研修事業などに取り組むことが主な活動内容となっています。

市民活動について思うこと

今までの継続なんだろうと思いますが、今年は特に新型コロナウイルスによって改めて安全安心で笑顔のあるまちづくりが一番大事なかなと考えております。まちづくり連絡協議会として今年

度の活動は地域コミュニティプランを各地区で作成しているということになっていきます。その活動にも新型コロナウイルス対策の経験は繋がってくるのかなと思いますし、いいタイミングで地域づくり活動を考える事業展開ができるのではないかと考えています。それから、これまで各地区で積み上げられてきた伝統ある事業には、一つひとつに大切な意味があることを十分理解してもらうことが大事なのではないかと思えます。そして、一つひとつの事業に対してそのいわれを繋いでいきたいと考えています。地域活動はやはり心のふれあいで喜びを感じられれば最高の事業だと思うし、そういうものが地域に根づいていくことによって、さらに絆とお互いの信頼ができていく、そういう地域であってほしいし、願いでもあります。社会教育活動やまちづくり市民活動はこれで良いという正解がないから何事にも取り組んでいきます。

活動をしていく上での課題は

同じ年代だと理解し合える部分が多いのですが、やっぱり三世代だと若い人との交流の面では、正直なかなか難しいところがあります。そこをこれから

うするかが課題だと思います。距離的なことだけ考えれば学校は近くにあるけれど、地域の子とも大人の心情的な距離は相当離れているのではと感じますね。私たちが育った時代とは違ってきている部分もあり、そのことを言葉で伝えようとせず、具体的な事業でチャレンジできる機会があればいいなと思います。例えば、豊郷地区で取り組んでいる「冒険!遊び場」づくりをとおして、地域の大人と子どもたちが自然な形で交流ができる場所を作るとか、ほかの地区でも地域かたるたを活用して、ふるさとのことや地域の伝統のようなことについて紐解きながら子どもたちに伝えていき、交流によって、世代を超えて自分の郷土を愛せるようになるのだと思います。今こそ、具体的な取組みを公民館を中心にやれなかったら、地域には何も残らなくなってしまう心配があります。

これからも、地域の役に立ち、愛される活動を楽しみながら実践していきたいです。そして、公民館(まちづくりセンター)が地域にあって良かったと思える施設にしていくことが私たちの役割なんだと思います。

PROFILE

- つかはら・しげのり
- ・昭和27年1月26日生
- ・鹿嶋市沼尾在住
- ・鹿嶋市体育協会 専務理事
- ・鹿嶋市豊郷地区まちづくり委員会 委員長
- ・趣味はゴルフ・自転車



▲豊郷の「冒険!遊び場」にて



▲子どもたちと北浦一周歩会に参加



CONTENTS

- 1 「★郷土かるた・伝統文化展 ★なまず絵展」同時開催
- 2 KASHIMAポストカードデザインコンテスト作品募集 「鹿嶋ものしりハンドブック」の紹介
- 3 市民センのひろば、掲示板
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊 豊郷地区「千羽鶴チャレンジ」
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり 「鹿嶋市まちづくり連絡協議会 会長 塚原 重徳さん」

2020KASHIMA 文化交流フェスティバル ～魅力あふれるかしま展～ 鹿嶋市美術展覧会会員特別展開催!

令和2年7月24日(金)～8月2日(日)



部門 絵画/書/写真/工芸

出品者 令和元年度 第23回 鹿嶋市美術展覧会に出品した会員以上及び最優秀賞、優秀賞の受賞者

会場 鹿嶋市まちづくり市民センター1F 市民ギャラリー及びふれあいサロン

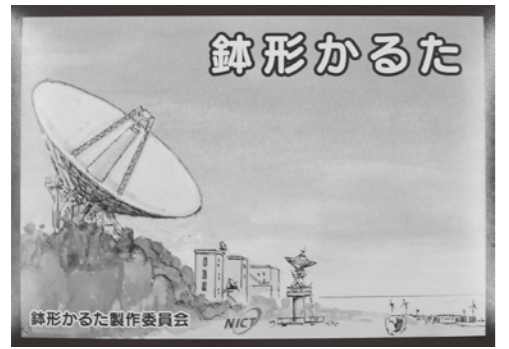
豊かでうるおいのある市民生活の創造に寄与すると共に、鹿嶋市独自の芸術文化の創出、多様な交流活動の促進、芸術文化活動の担い手となる人材の育成・充実の機会とし、鹿嶋市の芸術文化の発展を目指すことを目的に開催します。

同時開催

2020KASHIMA文化交流フェスティバル ～魅力あふれるかしま展～ ★郷土かるた・伝統文化展 ★なまず絵展

鹿嶋市美術展覧会会員特別展に合わせて、「郷土かるた・伝統文化展」「なまず絵展」が開催されます。新型コロナウイルスと共生していかなければならない社会においても、人々が輝き、楽しみ、つながり、喜びと充実感を分かち合える活力あふれるまちづくりを目指し、芸術や文化、伝統をテーマに、本市の魅力を再確認していきます。

郷土かるた・伝統文化展



▲「鉢形かるたの箱絵」

鹿嶋市の貴重な歴史や文化をより深く知ってもらうため、「郷土かるた」の展示と各地区に残る名所旧跡等を紹介しします。
(郷土かるた、文化財愛護かるた、高松かるた、とよつ親子かるた、大野今昔かるた、鉢形かるた)

なまず絵展



▲「鯰と要石」



▲「鯰の掛け軸」

安政の大地震の際に発行されたなまず絵をよみとくことにより、江戸時代の庶民から鹿島に寄せられた信仰の一端を紹介しします。

KASHIMAポストカードデザインコンテスト作品募集

募集テーマ

「あなたが伝えたい鹿嶋市の魅力」
(例:風景、建物、歴史、行事等)

募集期間

令和2年8月1日(土)～9月30日(水)
9:00～17:00

部門

絵画・写真

規格

- ①ポストカード(148mm×100mm)の大きさとする。
- ②一人一点とする。
- ③自己の製作したものとする。
- ④未発表のものとする。
- ⑤風紀上好ましくない作品は不可とする。
- ⑥肖像権や著作権に抵触する場合は出品者が了解を得る。



応募資格

鹿嶋市在住・在学・在勤・鹿嶋市出身者

申込み方法

作品の裏面に必要事項(①作品名②住所③連絡先④氏名⑤年齢⑥職業・学校名)を明記の上、鹿嶋市まちづくり市民センターまで持参または郵送
※作品については返却しませんのでご了承ください。※月曜日休館

申込先・問合せ

鹿嶋市宮中4631-1
鹿嶋市まちづくり市民センター TEL.83-1551

KASHIMAポストカードデザインコンテスト開催!

お申込みいただいた作品の中から優秀な作品については、東京2020オリンピックのサッカー期間中に、鹿嶋市を訪れる皆さんに配布するポストカードとして作成されます。



「鹿嶋ものしりハンドブック」

「鹿嶋ものしりハンドブック」という本をご存じですか。今から10年前、当時の「鹿嶋市まちづくり市民懇話会」の「鹿嶋人づくり専門部」の事業として「鹿嶋ものしりハンドブック編集委員会」を設置し、約2か年の月日を要して編集され、平成22年3月31日に発行されたものです。郷土鹿嶋の自然環境・歴史・文化・産業・風習などが網羅されており、鹿嶋を総合的に理解することができます。自宅で過ごすことが多かった今、あらためて「鹿嶋」の良さを知っていただくためにご活用いただきたい一冊です。

●頒布価 1,000円(税込)
●販売所
まちづくり市民センター 他、市内6箇所
※詳しくは、市民センターまでお問い合わせください。

★さて!ここでクイズです★

鹿嶋市が誕生したのは、いつでしょうか?

答え) 鹿嶋市は、平成7年9月1日に、鹿島町と大野村が合併して市政施行されました。令和2年9月1日で、25周年を迎えます。

市民センターのひろば



国際交流さるびあ 代表
菊地 百合子さん(粟生)

市民センターに於いて活動している日本語教室を通じて、多くの外国の方々とのふれあい、共に学び、共に成長していけることに感謝しています。



フラハラウ ロコマイカイ
森 真由美さん(宮中)

親子でフラを楽しんでいます。優しい先生と素敵な仲間とに会えるレッスンがリフレッシュとパワーの源です。3世代で活動中ですので、どなたでも見学大歓迎です。



Shiny Colors(シャイニーカラース) 代表
杉澤 更織さん(荒野)

チアダンスの大会出場を目標に掲げ、小学生から中学生のメンバーで活動しています。笑顔と元気を与えられるチームになるため頑張っています。

地域レポート

まちづくり探検隊 (vol.25)

～終息願う住民の想いの結晶～
『豊郷・千羽鶴チャレンジ』



▲届けられた鶴を喜び関係者

新型コロナウイルスの影響により公民館は休館を余儀なくされ、事業ができない状況下で、何かみんなで充実感が得られることはできないだろうかとの意見を踏まえ、その結果、辿り着いたのが、子どもから大人までのそれぞれの想いを形にできる折り紙で「日本の願掛け千羽鶴」をつくることだったそうです。

各区の公会堂等に回収ボックスを設置し、豊郷公民館をはじめ、各区長、各団体から「豊郷・千羽鶴チャレンジ」が地域全体に呼びかけられました。小学校もホームページ掲載やメール配信などで周知に加わり、その結果、一人ひとりが折った鶴は豊郷公民館に集められ、想いの込められた千羽鶴が地域一丸となって作り上げられています。5月1日から始めた取組みにより、続々と集められた折鶴は、6月中旬の時点で、すでに8000羽を越え、住民の皆さんの強く願う気持ちが伝わってきます。

集められた折鶴の中には、「コロナが早く収まりますように。」と子どもの手で目立たないところに書かれたものもあり、奥ゆかしさを感じる鶴もみられました。活動に参画している豊和会の高野元博会長、豊郷地区社会福祉協議会の出沼智恵子会長、豊郷地区まちづくり委員会の塚原重徳委員長、豊郷公民館主事の増古和美さんらによると、「こんな状況下でも、何かしたい、みんなで何かやり遂げたいという実感が欲しかった。この指とまれといえればみんなが集まってくる、そんな地域の繋がりが強く、みんな仲よし豊郷ならではの取組みです。」と話してくれました。

この取組みは今秋開催予定の豊郷まつりまで続けられ、まつりでは千羽鶴チャレンジの参加者による関連クイズを予定しています。最終的に、千羽鶴は医療機関などに届けられる予定となっており、平穏を願う豊郷の心は、強い絆と共に受け継がれることとなるでしょう。

地域の深い繋がりと心の豊かさ、新型コロナウイルス終息に向けたみんなの願いが伝わってくる活動となっています。



▲豊郷公民館に展示されている千羽鶴

掲示板

市民センターをご利用の皆さまへ

6月2日よりまちづくり市民センターは開館を再開しました。当面の間、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、施設利用に際し、下記の事項について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3密を避けましょう

- 定期的に換気をする(密閉しない)
- 人と人の距離を1～2m程度空ける(密集しない)
- 近距離での会話や発声をしない(密接しない)

※ご利用時の条件等

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。
- 入館される際に、入館申請書の提出をお願いします。
- ご利用後、使用したお部屋の清掃をお願いします。
- 中庭にテーブルとイスが設置されています。打合わせ等どうぞご利用ください。

お問合せ
鹿嶋市まちづくり市民センター
(電話) 83-1551 9:00～17:00※月曜休館